

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 腸骨海綿骨移植による顎骨再建に関する研究

### 研究の目的

口腔腫瘍切除後の下顎骨再建は口腔外科領域において重要な課題であり、これまで多くの手術方法が報告されています。再建方法として腓骨や肩甲骨を用いた血管柄付き骨移植術が多く用いられています。その一方、長時間手術となることで全身状態を考慮すると適応とならないこともあり、より単純で容易な手技が必要となります。

当科ではこれまで腸骨から海綿骨骨髓細片採取して口腔腫瘍手術時の下顎骨再建を行ってきました。本研究は腸骨海綿骨移植による下顎骨再建の予後について検討することです。腸骨海綿骨移植による下顎骨再建の予後と臨床病理学的因子の関係を明らかにすることが本研究の目的です。

研究実施期 実施許可日～ 2027年3月31日

間：

対象となる方： 2016年1月1日から2024年11月30日まで弘前大学医学部附属病院で口腔腫瘍に対して腸骨(骨盤の骨)から海綿骨を採取、移植し下顎骨再建を施行した患者。

### 利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、疾患名、既往歴、喫煙歴、腸骨海綿骨採取部位、下顎骨の再建部位、軟組織の再建の有無、腫瘍切除の術式、治療前の末梢血からの好中球 リンパ球比(NLR)、血小板 リンパ球比(PLR)、リンパ球-単球比(LMR)、予後推定栄養指数(PNI)等の情報情報を収集し、標記研究課題実施のために利用します。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(匿名化)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

歯科口腔外科・久保田 耕世 0172-39-5127/kkubota@hirosaki-u.ac.jp